



ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 136

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問)「講談社の絵本シリーズ」の所蔵がどのくらいあるか知りたい。

答)「講談社の絵本」をキーワードとして検索してみます。

図書 → ことばから調べる → 講談社の絵本 → 155件

『アリババ物語 講談社の絵本クラウン版』(726/F73)

『おもしろ絵童話 講談社の絵本 143』(726/N87/閉架一般)

『長ぐつをはいたねこ 講談社の絵本クラウン版』(726/Sa94)



* この中から昭和13年に発行された資料が見たい。

絞り込みボタンから 出版年月 → 昭和13年のみ → 調べる → 3件

『空中戦畫報 講談社の繪本 68』(726/Ku15/閉架一般)

『世界お伽噺 講談社の繪本 復刻版(昭和11～14年度刊複製)』(726/Y91)

『二宮金次郎 講談社の繪本 復刻版(昭和11～14年度刊複製)』(726/189)

★「講談社の絵本」・・・昭和11年に講談社が刊行を開始しました。

一流画家の絵に画期的印刷で初版40万部という前代未聞の部数でのスタートでした。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

8/15 終戦記念日を終えて(第3回 最終回)

終戦記念日を迎えた昨年 8 月に中学生から「なぜ原爆が落とされるまで降伏しなかったのか」という質問がありました。また、アメリカ観光客のツアーコンダクターの方から、「原爆を正当化するアメリカ人がほとんどで、自分は全く反論できないのが悲しい。何か別の観点から論じた本はありませんか？」といった声がありました。これを機会に終戦に関わった人々の著作等から終戦に向けた流れを追ってみることにしました。

今回はその 3 回目、最終回です。第 1 回目(NO.127)は戦争終結工作の流れ、第 2 回目(NO.132)はポツダム宣言について、今回は原爆開発についてまとめました。

- ①『終戦の表情』(鈴木貫太郎述) * 鈴木貫太郎氏は終戦時の内閣総理大臣
- ②『終戦の真相』(迫水久常著) * 迫水氏は終戦時の鈴木内閣の内閣書記官長
- ③『日本のいちばん長い夏』(半藤一利著)

終戦時、帷幕のうちにあった人、前線にいた人、捕虜収容所にいた人、新聞記者等、30 人が集まって「その日」を解き明かした座談会をまとめたもの。



昭和 20 年 7 月 16 日:アメリカが原爆実験に成功する。

日本は実験を知っていたが、原子爆弾だとは誰も想像していなかった(『太平洋戦争陸戦概史』)

昭和 20 年 7 月 25 日:アメリカで原爆投下命令が下る。

昭和 20 年 8 月 6 日:広島に原爆が投下される。

従来に見ない強力な新型爆弾によっておこなわれたものと感じたが、まさかこれが原子爆弾であるとは想像しなかった。日本でも原子爆弾の原理は研究され、充分認識されていたが、学者らはその実現は未だ難しいとされ、今次戦争には間に合わないと断言していた。原子爆弾だと判って終戦する以外に道はないとはっきり決意するに至った(③)。

昭和 20 年 8 月 9 日:長崎に 2 度目の原子爆弾が投下される。

(記述中の番号は、上記資料の該当資料番号です。)

ポツダム宣言を受諾しなかったために原爆が投下されたとの説がありますが、それより前に原爆投下命令は下されているのです。日本がアメリカの原爆開発の事実を知っていたら、原爆投下は回避することができたのでしょうか。

8 月には 66 度目の終戦記念日を迎えます。過去の戦争を振り返る機会にしたいものです。

— 図書室から —

入室の際は、貴重品以外の手荷物はコインロッカーをご利用ください。貴重な資料が多いため、ペットボトル等の飲料の持ち込みをご遠慮いただいております。ご理解の上、ご協力をお願いいたします。

7 月 23 日(土)から企画展「戦後復興までのみちのりー配給制度と人びとの暮らし」が開催されます。どうぞお立ち寄りください。

ぶらりらいぶらりい ~図書室にはこんな本があります~ NO. 136

2011年7月20日 発行/編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-1